

勘と経験と思い込みと意思に 頼らない施策の作り方

商店街再生やIT企業の誘致などで地方再生の成功事例としてたびたび紹介される日南市だが、本当はIT企業の誘致もしていないし、商店街も再生していないという。表には出てこない本当の地域の実情を仕掛け人本人がデータをもとに語る。

昼の部 「日本の前例は日南が創る」 日本一組みやすい自治体の挑戦

夜の部 再生したと持ち上げられている油津商店街は実は再生していない

日時

2018年 11月28日 (水) 昼の部 14:30～16:00
夜の部 19:00～20:30

会場

多久市まちづくり交流センター

「あいぱれっと」

住所:多久市北多久町大字小侍1016-2

講師

宮崎県 日南市 商工マーケティング課
日南市マーケティング専門官 田鹿 倫基 氏

講師略歴

1984年生まれ。宮崎大学卒業。(株)リクルートに入社。事業開発室に配属。ネット広告の新規事業や、(株)電通、東京工業大学との合併会社と兼務し位置情報とロコミを使った新サービス事業に携わる。その後、広告会社に転職。大手企業のプロモーション、また、外国人観光客向け、観光庁、百貨店のWEBマーケティングを担う。2013年、日南市のマーケティング専門官として着任。ベンチャー企業との協業事業や、自治体のブランディング活動。農林水産業の振興、地域の人口動態を踏まえた地方創生関連事業を行う。



参加無料

主催:佐賀地域経済研究会 協力:多久市まちづくり協議会
お問い合わせ
佐賀地域経済研究会事務局・池田
(佐賀大学経済学部地域経済研究センター)

Email: ikedas@cc.saga-u.ac.jp

TEL&FAX: 0952-28-8474